

金沢美術工芸大学では平成21年度から全国の工芸産地に息づく技法・工程見本、完成した製品、道具や材料などの諸資料の収集に着手しました。この取り組みは、加賀藩5代藩主前田綱紀のもとで収集・整備・分類された工芸資料の一大標本「百工比照」にちなみ、「平成の百工比照」収集・作成事業といえます。これまでに陶磁、漆工、金工、染織を中心に約5600点の資料を収集してきました。これらの資料は各産地で、ものづくりに携わる人びとの高い志と技術によって育まれてきた「今に生きる工芸」の姿を雄弁に語ってくれます。

本展では「平成の百工比照」資料とともに本学が所蔵する工芸作品の中から、選りすぐりの優品を出品します。両者をあわせてご覧いただくことで、作品に用いられる技法、材料、道具など制作の過程や背景もお楽しみいただけます。

同時期開催

美術工芸研究所 後期企画展
ひきふだ☆ザ・ワールド
—近代版画印刷技術の粋—

平成29年10月10日(火)～10月13日(金)
開場時間:12:00-17:30 入場無料
場所:金沢美術工芸大学大学院棟2階展示室



「引札(たばこあら物商)」制作年不明

引札【ひきふだ】とは、近世から近代初期に制作された商品や商家の広告(チラシ)です。引札は単なる広告ですが、摺りや彫りが丁寧なものも多く、人々が日常のうちに楽しむ「絵」であったと言えるでしょう。今まで見過ごされてきた日常の中の絵画。多種多様な引札の世界を知るきっかけとなれば幸いです。

表面(左上から時計回り)

重ね象嵌工程見本、手描き友禅工程見本、肉合研出蒔絵工程見本、九谷描画見本(青粒)、いずれも平成の百工比照資料より部分拡大

裏面

- a. 作者不詳《牡丹小舟蒔絵香合》江戸時代
 - b. 三代 徳田八十吉《耀彩鉢 遙》1994年
 - c. 齋栄織物(福島県)《妖精の羽》現代
 - d. 金沢漆器(石川県)《千筋吸物椀》現代
- *a,b:本学芸術資料、c,d:平成の百工比照資料

交通案内

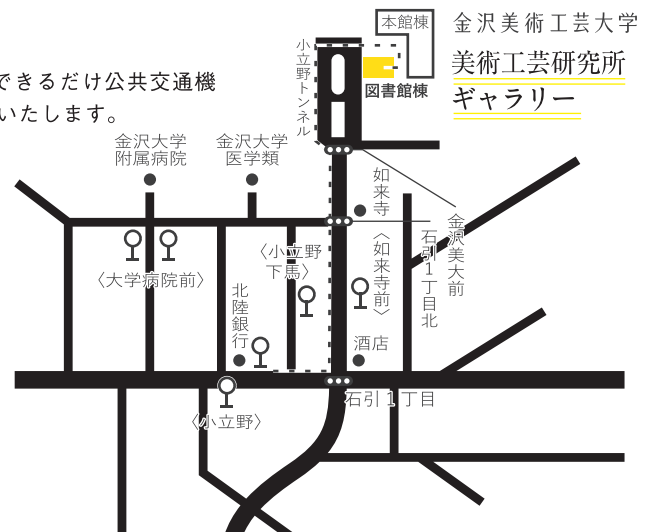
学内の駐車スペースが少ないため、できるだけ公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

[バス(北鉄バス)]

- JR金沢駅バスターミナルからご乗車いただき小立野バス停下車(乗車約25分、下車徒歩約8分)
- ・金沢駅東口バスターミナル3番のりば:(11)、(12)、(16)
 - ・金沢駅東口バスターミナル6番のりば:(13)、(14)
 - ・金沢駅西口バスターミナル5番のりば:(10)

[タクシー]

JR金沢駅から約20分



2017年10月4日(水)～11月11日(土)

金沢美術工芸大学

美術工芸研究所ギャラリー(図書館棟2階)

入場無料

開館時間

水・木・金曜日:10時～17時

土曜日:10時～15時 但し10月7日、11月4日は17時まで延長
*10月8日(日)、9日(月・祝)と11月3日(金・祝)、5日(日)は臨時開館(開館時間:10時～17時)

休館日

日・月・火曜日、祝日、11月2日(木)

お問い合わせ

〒920-8656 石川県金沢市小立野5-11-1

TEL:平日076-262-3519(美術工芸研究所)

土日祝祭日076-262-3531(代表)

FAX:076-262-6594

URL: <http://www.kanazawa-bidai.ac.jp>